

児理解推進校文部省指定を受け、児童が障がいのある人を正しく理解するための指導や研究発表を成功させるなど特別支援教育を推進されました。退職後は、八木町教育委員会指導主事、同教育委員、同教育委員長として、長年の学校教育での経験を生かし、社会教育・生涯学習の振興、文化財保護活動の充実などに尽力されました。



「消防行政の推進に貢献」

瑞宝単光章

伊藤 博則さん(日吉町・64)

昭和49年に旧日吉町消防団に入団以来、32年3カ月の長きにわたる消防団活動に従事。その間、副分団長2年、分団長6年、副団長8年3カ月、さらに団長5年9カ月を歴任されました。平成12年に団長として初めて挑んだ京都府消防操法大会では、長期間にわたる訓練で団員を熱心に指導。優れたリーダーシップで団をまとめ上

げ、日吉町消防団28年ぶりの入賞という好成績を収められました。また、日吉町消防委員にも就任され、団員の待遇改善や消防施設の整備に、活発な助言、提言を行い、消防行政の推進に尽力。その知識と経験は平成18年1月の市町村合併に向けた消防団に関する協議においても発揮され、今日の市消防団の発足に貢献されました。

昭和57年に特別養護老人ホーム長生園に寮母として採用されて以来、今日に至るまで27年1カ月の長きにわたり献身的な介護に取り組んでおられます。

平成13年4月1日から平成20年9月30日までは特別養護老人ホーム長生園で5年、養護老人ホーム長生園で2年6カ月、主任介護職員として、心の通った介護に努められました。入所者に対しての丁寧な言葉遣いや対応は、他の職員の間柄となり、入所者全体の処遇向上に貢献。平成20年10月には特別養護老人ホームの介護課長に就任され、入所者の最も信頼のおける相談役として引き続き入所者の介護にあたる一方、施設の運営や職員育成においても、日々奮闘されています。



「高齢者福祉の向上に尽力」

瑞宝単光章

今井 利子さん(園部町・59)

☆叙勲は栄誉のしるし☆

勲章は、国家や公共に対して功労のあった方に国から授与される記章のことで、春秋叙勲のほかに、危険業務従事者叙勲、高齢者叙勲、死亡叙勲などがあります。

春秋叙勲は年に2回、4月29日と11月3日付けで授与され、死亡叙勲は勲章の授与の対象となるべき方が死亡された場合に、春秋叙勲とは別に随時勲章を授与されます。